

石川の土地改良

石川県土地改良事業団体連合会

第641号 2019年2号



兼六園・ことじ灯籠（金沢市）
©石川県観光連盟

水土を守り農村空間を創造する

水と緑のパートナー

みどり
水土里ネットいしかわ

CONTENTS

● 令和元年度 第1回理事会	1
● 農業農村整備の集い	1
● 農業農村整備事業の着実な推進に向けて要請活動を実施	2
● 水土里ネット広報女性部会総会	2
● 令和2年度農業農村整備事業関係予算概算要求の概要	3～5
● 石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会	6
● いしかわ多面的機能発揮推進協議会第13回通常総会開催	6
● 令和元年度受益農地管理強化委員会	7
● 令和元年度管理運営体制強化委員会	7
● 令和元年度石川県土地改良管理指導センター管理専門指導員会議	8
● 令和元年度土地改良施設維持管理適正化事業等に関する説明会	8
● 令和元年度土地改良区役員・職員研修会	9
● 換地委員等実務研修会	9
● 土地改良区の複式簿記導入に向けて	10
● 令和元年度 研修会等開催予定	10
● 21創造運動いしかわだより	
歴史ある用水で清掃ボランティア〔水土里ネット辰巳用水〕	11
水路沿いを「花いっぱい」に〔水土里ネットかほくがた〕	11
「大きくなったね！みんなのひまわり」〔河北潟水土里ネットかんたく〕	11
柴山潟堤防クリーン作戦〔水土里ネット三湖・水土里ネット加賀〕	12
七ヶ用水の歴史や役割を学ぶ〔水土里ネット七ヶ用水〕	12
● 作品募集のお知らせ	
令和元年度「ため池のある風景」写真コンテスト	12
● 人事異動（7月8日付）	13
● 非補助農業基盤整備資金のご案内	13
● 農業基盤整備資金の金利改定について	13
● 連合会日誌(4月～8月行事)	14

令和元年度 第1回理事会

7月30日、本会の第1回理事会が、西村会長をはじめとする理事10名と監事3名の出席のもと、来賓に臼池秀紀県農林水産部農業基盤課担当課長を迎え、石川農林会館で開催された。

はじめに、西村会長が挨拶に立ち、「令和元年度の土地改良関係予算は、補正予算、当初予算及び臨時・特別措置を含め6,451億円を確保した。しかし、当初予算は大幅削減前の四分の三程度にとどまっており、安定的・計画的な事業実施のために、当初予算での予算確保が必要である。本会としては、土地改良区を取り巻く情勢が変化中、県並びに会員と連携を図りながら、しっかりと対応するとともに、当初予算の確保に向け積極的に取り組んでいきたい」と述べた。

続いて臼池担当課長から来賓挨拶の後、議案審議に入った。



今回の理事会では、以下の審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

理事会に先立って監事会が7月23日に開催され、本年度監査計画等の審議及び平成30年度決算監査が実施された。

【議案】

- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度収支決算

農業農村整備の集い

6月5日、東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サポーにおいて、全国水土里ネット・都道府県水土里ネット共催による農業農村整備の集いが開催され、全国から関係者約1,200名が参集した。

二階俊博全国水土里ネット会長の開会挨拶の後、来賓として出席された吉川貴盛農林水産大臣、森山裕国会対策委員長、塩谷立自民党農林・食料戦略調査会長、進藤金日子参議院議員らより祝辞が述べられた。

その後、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問から情勢報告があり、要請案文が満場



一致で採択され、参加者一同によるガンバロウ三唱で盛会裏に終了した。

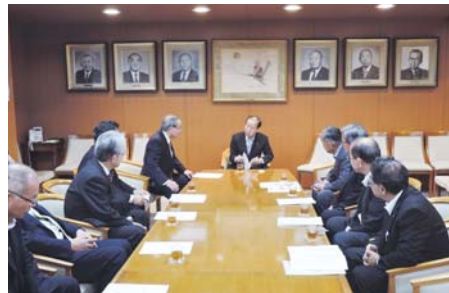
農業農村整備事業の着実な推進に向けて 要請活動を実施

○北陸四県土地改良事業団体連合会協議会

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、5月22日、23日の両日、自民党本部、農林水産省並びに関係国会議員に以下の内容で要請活動を行った。

【要請内容】

- ・農地の大区画化と汎用化による農業競争力の強化推進
- ・農業用水の安定供給と農業水利施設の計画的な整備
- ・更新による防災減災対策の推進
- ・老朽ため池の整備・更新と未利用ため池の早急な廃止
- ・改正土地改良法を踏まえた土地改良区の運営基盤強化の推進
- ・農業農村整備事業の着実な推進を図るために必要な令和2年度予算の確保



二階自民党幹事長へ要請書を提出

○本会及び石川県農業農村整備事業推進協議会

本会は、石川県農業農村整備事業推進協議会と合同で、8月21日、22日の両日、農林水産省、財務省並びに自民党本部、関係国会議員に以下の内容で要望活動を実施した。

【要望内容】

- ・農業農村整備事業の着実な推進
- ・美しく活力ある農村の実現に向けた支援
- ・新規希望地区の採択



高野農林水産大臣政務官へ要望書を提出

水土里ネット広報女性部会総会

4月26日、東京都ルポール麹町において、水土里ネット広報女性部会の総会が開催された。

はじめに、来賓の進藤金日子都道府県水土里ネット会長会議顧問、同じく宮崎雅夫顧問から女性部会へ励ましの言葉が贈られた。

総会では、2019年度の役員選出、活動方針の報告のほか、各県「女性の会」の活動報告及び設立を予定している都道府県から状況報告があった。現在の設立状況は、平成30年度までに11県が設立しており、本年度は3県の設立が予定されている。

なお、女性部会では、本年度のテーマを「女性



部会の浸透とネットワークづくり」として活動を展開していく予定である。

【役員】

会 長	萩原 丈巳	水土里ネット山梨	総務部総務課長
副会長	荒木 美子	水土里ネット岡山	総務部長
同	戸松 若菜	水土里ネット宮城	総務部次長

令和2年度 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要

農林水産省は、8月30日、令和2年度農業農村整備事業関係予算の概算要求額を5,388億円（対前年度予算比122.0%）に決定した。主な内容は以下のとおり。

○令和2年度 農業農村整備事業関係予算 【5,388億円】（122.0%）

（単位：億円）

区 分	R1年度予算額	R2年度概算要求額	対前年度比
農業農村整備事業（公共）	3,260	3,978	122.0%
農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業〕	508	631	124.3%
農山漁村地域整備交付金（公共） 〔農業農村整備分〕	650	780	120.0%
計	4,418	5,388	122.0%

※1 令和元年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額。 ※2 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

● 重点事項

※各事項の下段（ ）内は、令和元年度当初予算額（「臨時・特別の措置」を除いた額）

1 「スマート農業」の実現と強い農業のための基盤づくり

(1) 農業農村基盤整備（競争力強化・国土強靱化）

- ① 農業農村整備事業＜公共＞ 3,978億円
(3,260億円)
- ② 農地耕作条件改善事業 350億円
(300億円)
- ③ 農業水路等長寿命化・防災減災事業 281億円
(208億円)
- ④ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞ 1,113億円
(927億円)

2 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

(1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化と農業委員会による農地利用の最適化

- ① 農地の大区画化等の推進＜公共＞ 1,854億円の内数
(1,297億円の内数)

3 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

(1) 水田フル活用の推進

- 水田農業の高収益化の推進 (水田活用の直接支払交付金)
3,215億円の内数
(農地の大区画化等の推進)
1,854億円の内数
(強い農業・担い手づくり総合支援交付金)
296億円の内数
(持続的生産強化対策事業)
233億円の内数
(畜産生産力・生産体制強化対策事業)
16億円の内数

4 農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

- ① 多面的機能支払交付金 493億円
(487億円)
- ② 中山間地域等直接支払交付金 269億円
(263億円)

(2) 中山間地農業の所得向上を始めとした農山漁村の活性化

- ① 中山間地農業ルネッサンス事業＜一部公共＞ 510億円
(440億円)

② 農山漁村振興交付金	100億円 (98億円)
③ 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進	122億円 (104億円)
④ 特殊自然災害対策施設緊急整備事業	2億円 (2億円)

農業農村整備事業 【397,752 (326,026) 百万円】

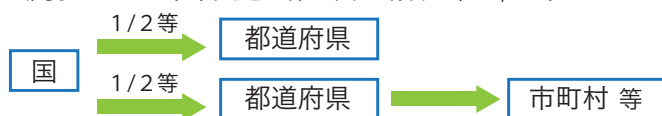
● 対策のポイント

農業の競争力強化のための農地の大区画化や汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の管理体制の強化等を推進する。

<事業の内容>

1. 担い手が活躍する強い農業基盤づくり（農業競争力強化対策） 185,415 (129,678) 百万円
担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地中間管理機構との連携等により、農地の大区画化や汎用化・畑地化、畑地かんがい施設の整備等を実施。また、パイプライン化やICT等の導入により、新たな農業水利システムを構築し、担い手の多様な水利用や水管理の省力化を推進。
2. 老朽化した農業水利施設の長寿命化（国土強靱化対策） 130,631 (122,398) 百万円
老朽化した農業水利施設について、点検・診断に基づき、補修・更新等を適時・的確に実施。
3. 安全・安心のための農村地域の防災・減災（国土強靱化対策） 81,707 (73,950) 百万円
基幹的な農業水利施設やため池等の耐震対策、集中豪雨による農村地域の洪水被害防止対策等を実施。

<事業の流れ> ※事業実施主体が国の場合は、2/3等



農山漁村地域整備交付金 【111,257 (92,714) 百万円】

● 対策のポイント

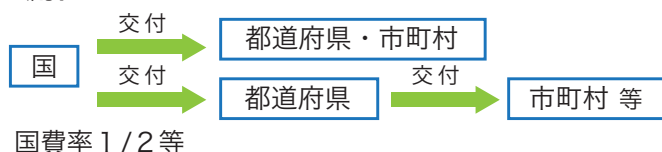
地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援する。

<事業の内容>

1. 都道府県又は市町村は、農山漁村地域整備の目標等を記載した農山漁村地域整備計画を策定し、これに基づき事業を実施。
2. 農業農村、森林、水産の各分野において、農山漁村地域の生産現場の強化や防災力の向上のための事業を選択して実施。
 - ① 農業農村分野：農用地整備、農業用排水施設整備、海岸保全施設整備等
 - ② 森林分野：予防治山、路網整備等
 - ③ 水産分野：漁港漁場整備、漁村環境整備、海岸保全施設整備等
3. 農業集落排水事業において、単独処理浄化槽を廃止し農業集落排水へ接続する場合、末端受益1戸までの管渠整備等も対象に追加。

※下線部は農村振興局関連の拡充内容

<事業の流れ>



農地耕作条件改善事業

【35,030（29,950）百万円】

●対策のポイント

農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構による担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るため、計画策定から営農定着に必要な取組を一括支援。

<事業の内容>

1. 地域内農地集積型
畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等のきめ細やかな耕作条件の改善を機動的に支援。
2. 高収益作物転換型
高収益作物への転換に向けた計画策定から営農定着に必要な取組をハードとソフトを組み合わせる支援。
3. 農地集積推進型
担い手への農地集積を一層推進するため、推進費（整備費の最大5.0%）の交付により農業者の費用負担の軽減を図る。

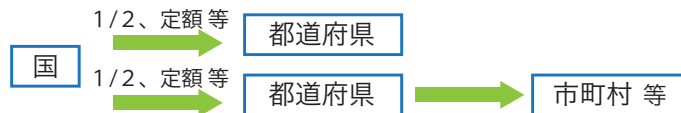
<機構集積協力金における農地整備・集約協力金の活用>

リタイア農家が所有する農地等を機構を介して担い手に円滑に集約できるよう、機構集積協力金交付事業の農地整備・集約協力金（整備費の最大12.5%）を活用することによって、農業者の費用負担の軽減を図る。

<実施要件>

- ①事業対象地域が農振農用地のうち農地中間管理事業の重点実施区域等、②総事業費200万円以上、③受益者数2人以上、④機構との連携概要の策定
- ※2及び3の型については、上記要件に加えて、高収益作物への転換や担い手への農地集積等の要件あり。

<事業の流れ>



農業水路等長寿命化・防災減災事業

【28,060（20,813）百万円】

●対策のポイント

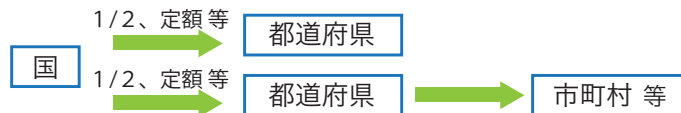
農業水利施設の機能の安定的な発揮に必要な機動的かつ効率的な長寿命化対策及び防災減災対策を、早期に効果が発現する地区を対象にきめ細かく推進するとともに、効果を最大限に発揮するための取組を支援。

<事業の内容> ※下線部は拡充内容

1. きめ細やかな長寿命化対策
 - 機能診断・機能保全計画に基づいた補修や更新、分水ゲートの自動化、パイプライン化、水管理のICT化、自動給水栓の導入などによる水管理・維持管理の省力化を支援。
 - ハード対策を行うための、機能診断・機能保全計画の策定等を支援。
2. 機動的な防災減災対策
 - 災害の未然防止に必要な施設整備、リスク管理のための観測機器の設置、ため池の統廃合等、防災減災に資する対策を支援（ため池に設置する観測機器の設置は令和2年度まで定額、ため池の統廃合は定額）。
 - ハード対策を行うための、耐震性点検・調査等を支援。
 - 農業水利施設の安全対策を緊急的に推進するため、農業水利施設の危険箇所の把握や優先度に応じた安全施設の整備を支援（令和3年度まで定額）。
3. ため池の保全・避難対策
 - ハザードマップの作成、監視・管理に必要な研修の開催、都道府県等を単位として行うパトロールなど監視・保全管理に資する活動を支援（令和2年度まで定額）。

【実施区域】農振農用地、生産緑地 等
【実施要件】1、2の対策：総事業費200万円以上、受益者数2人以上、工事期間3年（ため池の場合は5年以内）以内 等

<事業の流れ>



※事業実施年度での採択申請が可能（複数回受付）

石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会

5月20日、石川農林会館において、令和元年度石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会が開催された。

総会には、会員の市町、土地改良区のほか、来賓として家元雅夫県農業基盤課長並びに本会の前寺清一専務理事が出席した。

杉本栄蔵会長は挨拶の中で、「農業農村整備事業では、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を推進し、強い農業農



村の実現を目指すための予算が必要である。本協議会としても、会員の皆様と一丸となり、これら施策の実現に向け邁進したい」と述べた。

今回の総会では、以下の議案が上程され可決・承認された。

議案審議のあと、県担当者から、農業農村整備事業関係の予算及び事業の実施状況並びに今後の実施方針について説明があった。

【議案】

- ・平成30年度事業報告及び収支決算
- ・令和元年度事業計画及び収支予算
- ・経費の負担基準及び納入方法
- ・報告事項（監事の交代について）

【新役員】

監事	坂下 正浩	輪島市農林水産課長
同	大谷 清樹	志賀町農林水産課長
同	米多 武照	能美市農林課長

いしかわ多面的機能発揮推進協議会 第13回通常総会

5月31日、石川県土地改良会館において、令和元年度いしかわ多面的機能発揮推進協議会第13回通常総会が開催された。

開会に当たり、前寺清一会長から、「多面的機能支払交付金の活動面積は毎年増え続けて県下の農地面積約66%をカバーしている。これは、日頃から事業の推進に取り組む県、市町皆様の尽力の賜物。また、今年度から本県における資源向上支払（長寿命化）の自己負担割合が緩和された。県に感謝を申し上げるとともに、これにより本対策の一層の推進が期待される」と挨拶があった。

議案審議では、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算のほか、任期満了に伴う役員を選任が行われ、全議案可決・承認された。

【新役員】

会長	前寺 清一	石川県土地改良事業団体連合会専務理事
副会長	寺崎 信二	石川県農林水産部里山振興室長
監事	平嶋 謙一	小松市産業未来部農林水産課長

閉会に際して、寺崎副会長（石川県農林水産部里山振興室長）は、「活動組織の中には高齢化等で活動の継続が困難な組織もある。広域化を推進する等組織が円滑に事業に取り組めるよう、関係皆様と連携を図り支援していきたい」と述べた。



令和元年度受益農地管理強化委員会

石川県換地センターは、6月26日、石川農林会館において、令和元年度受益農地管理強化委員会を開催した。

はじめに、前寺清一委員長が挨拶し、「本センターは、換地指導や農地集積、換地技術者及び換地委員等への各種研修会の実施を中心に活動しており、換地業務の円滑な推進に寄与してい



る。今後も換地業務の適切な実施について指導をお願いしたい」と述べた。

つづいて、柴田和夫北陸農政局土地改良管理課長から、「基盤整備事業の実施主体に対する換地選定等の指導、所有者不明農地における換地処分推進のための財産管理人制度の助言や現地指導をお願いしたい」と挨拶があった。

委員会には、9名の委員が出席し、以下の議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

【議案】

- ・平成30年度事業実施結果報告及び収支決算
- ・令和元年度事業実施計画及び収支予算

令和元年度管理運営体制強化委員会

石川県土地改良管理指導センターは、6月26日、石川農林会館において、令和元年度管理運営体制強化委員会を開催した。

はじめに、前寺清一委員長が挨拶し、「本委員会は、県内の膨大な農業水利施設を適切に管理するために、定期的な施設の診断、維持管理適正化事業による施設の保全と、複式簿記会計の指導による土地改良区の組織運営基盤の強化を図っていくものである。また、昨年度の土地改良法の改正に伴い、組合員資格の見直しや貸借対照表の義務化等が必要となり、土地改良区が健全に運営していくためにも、本委員会で審議し、指導、助言を賜りたい」と述べた。

つづいて、柴田和夫北陸農政局土地改良管理課長は、「土地改良区は、農業水利施設の老朽化や組合員の高齢化、土地持ち非農家の増加が顕著化している昨今の状況にあっても、地域資源である農業水利施設の管理や地域組織との共働活動を通じた環境保全を推進する団体として期待されてい



る。これらの状況を踏まえて、土地改良法の改正に基づく適切な指導は勿論のこと、施設の診断から補修、更新時期への適切なアドバイスや業務運営の透明化や、ガバナンスの強化に向けた助言や指導等をお願いしたい」と述べた。

委員会には、7名の委員が出席し、以下の議案について審議が行われ、原案どおり可決・承認された。

【議案】

- ・平成30年度事業実施結果報告及び収支決算
- ・令和元年度事業実施計画及び収支予算

令和元年度石川県土地改良管理指導センター 管理専門指導員会議

石川県土地改良管理指導センターは、7月22日、土地改良会館において、土地改良施設の管理に関する専門的な診断・管理指導に関する管理専門指導員会議を開催し、県及び本会の管理専門指導員14名が出席した。

会議では、以下の議案について審議が行わ



れ、いずれも原案どおり可決・承認された。

なお、本年度の定期診断は、対象施設415施設のうち、60施設を予定しており、適正化事業は、18団体、53施設の実施を予定している。

【議案】

- ・土地改良施設の診断・管理指導業務
- ・平成30年度土地改良施設維持管理適正化事業実施結果
- ・令和元年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画
- ・令和2年度土地改良施設維持管理適正化事業加入要望

令和元年度土地改良施設維持管理 適正化事業等に関する説明会

本会は、8月28日、石川農林会館において令和元年度土地改良施設維持管理適正化事業等に関する説明会を開催し、会員31土地改良区及び10市町の役職員53名が出席した。

まず、適正化事業について、提出書類の注意事項や工事実施及び竣工検査時における留意事項について説明が行われた。

つづいて、土地改良法の一部改正に伴い、全ての土地改良区において貸借対照表が義務付けられたことから、土地改良施設の資産評価並びに複式簿記の必要性や単式簿記との違いなどについて説明があった。

なお、本会では、法改正に伴う諸問題に対応すべく4月より土地改良区体制強化支援プロジェク



トチームを立ち上げており、今年度を含めて2ヶ年で複式簿記を導入していない土地改良区を対象に、資産評価の実施と複式簿記会計への円滑な移行のための研修会や巡回指導を実施することとしている。

令和元年度土地改良区役員・職員研修会

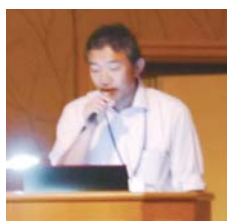
8月5日、本会は金沢市内において、令和元年度土地改良区役員・職員研修会を開催し、県内38土地改良区等から88名の役職員が出席した。

はじめに、いしかわ農業総合支援機構の青木課長補佐から、効率的な農作業を可能にするICT農業用機械の活用事例などについて説明があったほか、以下のカリキュラムに沿って研修会を行った。



挨拶する西村会長

カリキュラム	講師
農業の収益力向上に向けた他産業と連携した取組み	いしかわ農業総合支援機構農業経営戦略グループ 課長補佐 青木克弘
地域農業の活性化に向けた取組み事例	農事組合法人 なたうち 代表理事 村田正明
賢く食べて健康に ～生活習慣病予防の食事～	公益社団法人 北陸体力科学研究所 管理栄養士 中崎衣美
現代の土地改良	元農林水産省農村振興局長 室本隆司
国政報告	参議院議員 山田修路



青木課長補佐



村田代表理事



中崎氏



室本元農村振興局長



山田参議院議員

換地委員等実務研修会

石川県換地センターは、令和元年度換地委員等実務研修会を、七尾市、金沢市、輪島市の3会場で8月6日、7日、9日にそれぞれ開催した。

この研修は、換地等技術向上を目的としたもので、事業実施地区の換地委員、事業予定地区の準備委員、事業推進委員、地域のリーダー等107名が受講した。

研修では、換地のあらましや基礎知識、換地設計基準、土地評価と換地清算、換地計画原案作成等、地区で行う換地業務を中心とした説明があった。

参加者からは、地区の換地作業において日頃疑問に感じている点や、今後換地を進める上での留



意点などについて積極的な質疑がなされ、換地実務への理解を深めた。

土地改良区の複式簿記導入に向けて

土地改良法の改正に伴い、令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務付けられました。

これを受けて、本会では貸借対照表を作成するための複式簿記会計の導入に向けて、関係土地改良区を支援する巡回指導を実施しています。併せて、貸借対照表に計上する土地改良施設の資産についても、評価を実施しているところです。

目標年度に向けて、円滑な移行作業ができるよう土地改良区の皆さまと

も取り組んで行きたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、複式簿記会計に関するだけでなく、土地改良法改正などについてのお問い合わせは、以下までご連絡下さい。



石川県土地改良事業団体連合会
土地改良区体制強化支援PTチーム
TEL 076-249-7181

令和元年度 研修会等開催予定

本会などが、今年度に予定している研修会は下記のとおりです。

開催日時などの詳細については、その都度ご案内します。

開催予定月	研修会等名	受講対象者	開催場所
11月中旬	石川県農業農村整備事業推進協議会県外研修	県・市町・土地改良区・土連職員	未定
11月7～8日	ため池フォーラムinみえ	県・市町・土地改良区・土連職員	三重県
11月13日	複式簿記導入促進特別研修	県・土地改良区・土連職員	金沢市
11月14日	小水力等発電技術者育成研修（会計運営研修）	土地改良区・土連職員	金沢市
11月15日	小水力等発電技術者育成研修（維持管理研修）	土地改良区・土連職員	金沢市
11月26日	令和元年度疏水研修会	土地改良区・土連職員	東京都
1月	換地計画実務研修	換地技術者	金沢市

※止むを得ない事情により、変更又は中止となる場合がありますので、ご了承ください。

“21創造運動”いしかわだより

歴史ある用水で清掃ボランティア

●●● 水土里ネット辰巳用水 ●●●

水土里ネット辰巳用水は、6月23日に辰巳用水の清掃ボランティアを実施しました。この活動は、平成9年から毎年実施されており、今年は同水土里ネット、地元生産組合（涌波地区）、県、県土連などから約50名が参加しました。

参加者は、金沢市末町地内犀川浄水場周辺の水路約1kmで、水路沿いの草刈りや水路内のゴミ拾いなどを行いました。

同水土里ネットでは、歴史的文化遺産で土地改良施設としての役割も果たしている辰巳用水をこれからも地域住民と共に維持管理していくこととしています。



水路沿いを「花いっぱい」に

●●● 水土里ネットかほくがた ●●●

7月11日、水土里ネットかほくがたは、津幡町潟端の私立さくらこども園で「花いっぱい運動」を行いました。この取組みは、水土里ネットの役割と環境美化のPRを目的に、同こども園の協力を得て平成16年度から毎年続けているもので、園児67名がマリーゴールドやサルビアなど4種280株の花苗をプランター100個に植えました。

その後、プランターをこども園前の農業用水路沿へと運び、水路沿いを色とりどりの花で飾りました。



「大きくなったね！みんなのひまわり」

●●● 河北潟水土里ネットかんたく ●●●

7月25日、津幡町湖東の河北潟干拓地「ひまわり村」で開村式が行われました。5月に種まきを行った園児180名及び県や市町などの関係者が出席し、名誉村長の谷本正憲県知事と村長の矢田富郎津幡町長が挨拶したあと、関係者・園児代表者がテープカットを行い、ひまわりの成長を祝いました。



今年は風雨の影響で一部倒れた場所もありましたが、ひまわりは悪天候に負けることなく大きく育ちました。休日にはライトアップも実施され、連日多くの観光客で賑わいました。



ひまわり村は、河北潟水土里ネットかんたくが事務局となり「子どもたちが農業に親しみ、ふるさとへのいつくしみの心を育ててもらふこと」を目的に、毎年実施しています。

柴山瀉堤防クリーン作戦

●●● 水土里ネット三湖・水土里ネット加賀 ●●●

8月3日、加賀三湖地区管理体制整備推進協議会（事務局：水土里ネット三湖）が加賀市柴山町地内で柴山瀉堤防の清掃活動を行いました。

この活動は、平成13年度から継続されており、柴山瀉の環境美化推進を目的として柴山瀉締切堤防の清掃活動が実施されています。

活動には、水土里ネット三湖・加賀の組合員、地元企業、県土連及び一般住民など約130名が参加し、清掃活動に汗を流しました。

参加者は、瀉から流れてきたペットボトル、空き缶などのゴミ拾いや雑木処理を行い、収集されたゴミは事務局で分別した後、加賀市の協力のもと無償で処理されました。



七ヶ用水の歴史や役割を学ぶ

●●● 水土里ネット七ヶ用水 ●●●

石川平野排水対策促進協議会（事務局：水土里ネット七ヶ用水）は、8月17日、七ヶ用水探検ツアーを開催し、白山市、金沢市の小学生親子36名が参加しました。



七ヶ用水給水口

参加者は、大水門や展示施設がある「白山管理センター」を訪れ、水土里ネット七ヶ用水の職員から、明治36年（1903）に造成され100年以上経った現在も利用されている大水門、隧道、給水口について、造成当時の苦労や現在に至るまでの用水の歴史や様々な役割について説明を受けました。

つづいて、獅子吼高原の頂上へ移動し、手取川扇状地を一望した後、農業用水を利用した環境にやさしい「七ヶ用水発電所」を見学しました。

作品募集のお知らせ

令和元年度「ため池のある風景」写真コンテスト

1 題材

農業ため池（農業用水として貯留水の一部が現に使用されているため池。ただし、いわゆるダムと称されているものは除く。）、農業用ため池を含めた農村の風景、ため池と棚田、ため池を管理する農家、ため池の四季など、自由。

2 応募方法

- 未発表作品に限ります。
 - 四つ切り又は四つ切りワイド（その他サイズは審査できません。）
- ※詳細は、下記ホームページまで。

3 応募締切 令和元年12月31日(火) (当日消印有効)

4 応募・問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階
全国水土里ネット内「ため池のある風景写真コンテスト」係
TEL 03 (3234) 5591
[ホームページ→http://www.inakajin.or.jp](http://www.inakajin.or.jp)

5 主催者等

主 催：全国ため池等整備事業推進協議会
協 賛：全国土地改良事業団体連合会、各都道府県土地改良事業団体連合会



「枯木に咲くネジ花」
(昨年度の最優秀賞)

人事異動

○農村振興局

令和元年7月8日付

局長		牧元幸司
局次長		奥田透
農村政策部	部長	村井正親
整備部	部長	安部伸治
農村政策部	地域振興課 課長	植野栄治
整備部	設計課 課長	川合規史
同	土地改良企画課 課長	坂本延久
同	水資源課 課長	柵木環
同	農地資源課 課長	北林英一郎

○北陸農政局

令和元年7月8日付

局長	森澤敏哉
局次長	小林勝利
地方参事官	熊谷徹

非補助農業基盤整備資金のご案内

■非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業等に対して、株式会社日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利子で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

■融資の条件

○貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合（事業主体となる場合に限る）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人、5割法人・団体（農業集落排水事業に限る）

○貸付限度額

地元負担額

複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区等が当該年度に負担する額（最低限度額50万円）

○貸付利率

0.02%（令和元年9月19日現在）

※固定金利であり、償還が終わるまで適用される金利は変わりません。金融情勢により貸付金利は変動しますので、直近の利率は最寄りの株式会社日本政策金融公庫にお問合わせ下さい。

（金沢支店 TEL:076-263-6472）

○償還期限

最長25年（据置期間10年以内を含む）

○償還方法

元利均等償還、元金均等償還のいずれかを選択できます。

■融資対象事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道、畦畔整備、石れき除去、農地造成、農地保全、防災、維持管理、農業集落排水、飲雑用水施設、牧野の改良・造成・保全、牧野利用施設整備

農業基盤整備資金の金利改定について

下記のとおり令和元年9月19日付けで改定されましたのでお知らせします。

◎ 株式会社日本政策金融公庫

（単位：％）

区分	現行	改定
県営	0.22	0.17
団体営	0.07	0.02
非補助	0.07	0.02

※災害については償還期間により利率が異なりますので、公庫にお問合わせ下さい。

連合会日誌

4月

- 5日 石川県立大学入学式 (県立大学)
- 19日 平成31年度農業農村整備広報担当者会議 (東京都)
- 22日 第41回石川の農林漁業まつり第1回担当者会議 (県庁)
- 23日 七尾鹿島土地改良推進協議会第1回幹事会 (七尾市役所)
- 同日 管内NN担当課長等会議 (広坂合同庁舎)
- 25日 平成31年度財務管理強化研修担当者会議 (東京都)
- 同日 平成31年度地域環境資源センター第1回理事会 (東京都)
- 同日 都道府県水土里ネット会長・事務責任者合同会議 (東京都)
- 同日 全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会平成31年度通常総会 (東京都)
- 25日 全国水土里ネット広報女性部会総会 (東京都)

5月

- 14日 農業活性化協議会第1回通常総会 (農国会館)
- 16日 令和元年度石川県基幹水利施設管理協議会総会 (ホテル金沢)
- 20日 石川県農業農村整備事業推進協議会総会 (農林会館)
- 21日 河北郡市土地改良推進協議会令和元年度通常総会 (津幡町役場)
- 同日 河北潟干拓地ひまわり村種まき (河北潟干拓地)
- 22・23日 北陸四県土連協議会要請活動 (東京都)
- 23日 小松能美土地改良協会令和元年度通常総会 (小松商工会議所)
- 24日 七尾鹿島土地改良推進協議会通常総会 (七尾市役所)
- 28日 地域環境資源センター定時総会 (東京都)
- 同日 金沢市土地改良事業功労賞授与式・総代会 (マリアージュ金沢)
- 31日 河北潟周辺地域排水対策事業促進期成同盟会総会 (県農林総合研究センター)
- 同日 いしかわ多面的機能発揮推進協議会第13回通常総会 (土地改良会館)

6月

- 1・2日 北陸四県土連協議会総会 (富山県)
- 4日 石川平野排水対策促進協議会令和元年度通常総会 (グランドホテル白山)
- 同日 石川県農業農村技術者協会第19回総会 (土地改良会館)
- 5日 農業農村整備の集い (東京都)
- 6日 農業農村整備の集い (加賀地方)
- 同日 令和元年度奥能登農業推進協議会 (能登やなぎだ荘)
- 12日 農業農村整備の集い (能登地方)
- 14日 石川土地改良事業協会令和元年度定期総会 (松任産業会館)
- 同日 農地バンク5年後見直し推進総決起大会 (東京都)
- 19日 農業農村整備情報総合センター令和元年度定時総会 (東京都)
- 23日 農林倶楽部県央支部ボランティア (辰巳用水)
- 25日 羽咋郡市土地改良推進協議会第67回総会 (羽咋市役所)
- 26日 受益農地管理強化委員会 (農林会館)
- 同日 管理運営体制強化委員会 (農林会館)

7月

- 11日 花いっぱい運動 (津幡町)
- 17・18日 第61回土地改良団体職員研修会 (東京都)
- 22日 土地改良管理指導センター専門指導員会議 (土地改良会館)
- 23日 令和元年度第1回監事会 (土地改良会館)
- 25日 河北潟干拓地ひまわり村開村式 (河北潟営農公社前)
- 同日 農家負担金軽減支援対策事業現地調査 (七ヶ用水改良区)
- 30日 令和元年度第1回理事会 (農林会館)

8月

- 3日 柴山潟堤防クリーン作戦 (加賀市内)
- 5日 土地改良区役員・職員研修会 (日航ホテル)
- 6・7・9日 換地委員等実務研修会 (七尾市ほか)
- 20日 大日ダム土地改良区連合講演会 (グランドホテル白山)
- 21・22日 石川県農業農村整備事業推進協議会要望活動 (東京都)
- 22日 石川県基幹水利施設管理協議会施策提案 (東京都)
- 25日 「土地改良法」改正に伴う研修会 (白山市)
- 27日 農業農村工学会創立90周年記念式典 (東京都)
- 28日 維持管理適正化事業等に関する説明会 (農林会館)

土地改良事業の相談は 水土里ネット いしかわへ

石川県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談及び助言・指導を毎月1日に行っています。窓口は右記のとおりとなりますので、お気軽にご相談下さい。

- 連絡先** 石川県土地改良事業団体連合会
換地センター 及び
土地改良管理指導センター
(TEL 076-249-7181)
- 相談日** 毎月1日

編集兼：金沢市古府1丁目197番地
発行 石川県土地改良事業団体連合会
電話 076-249-7181
印刷所：(株)谷印刷

